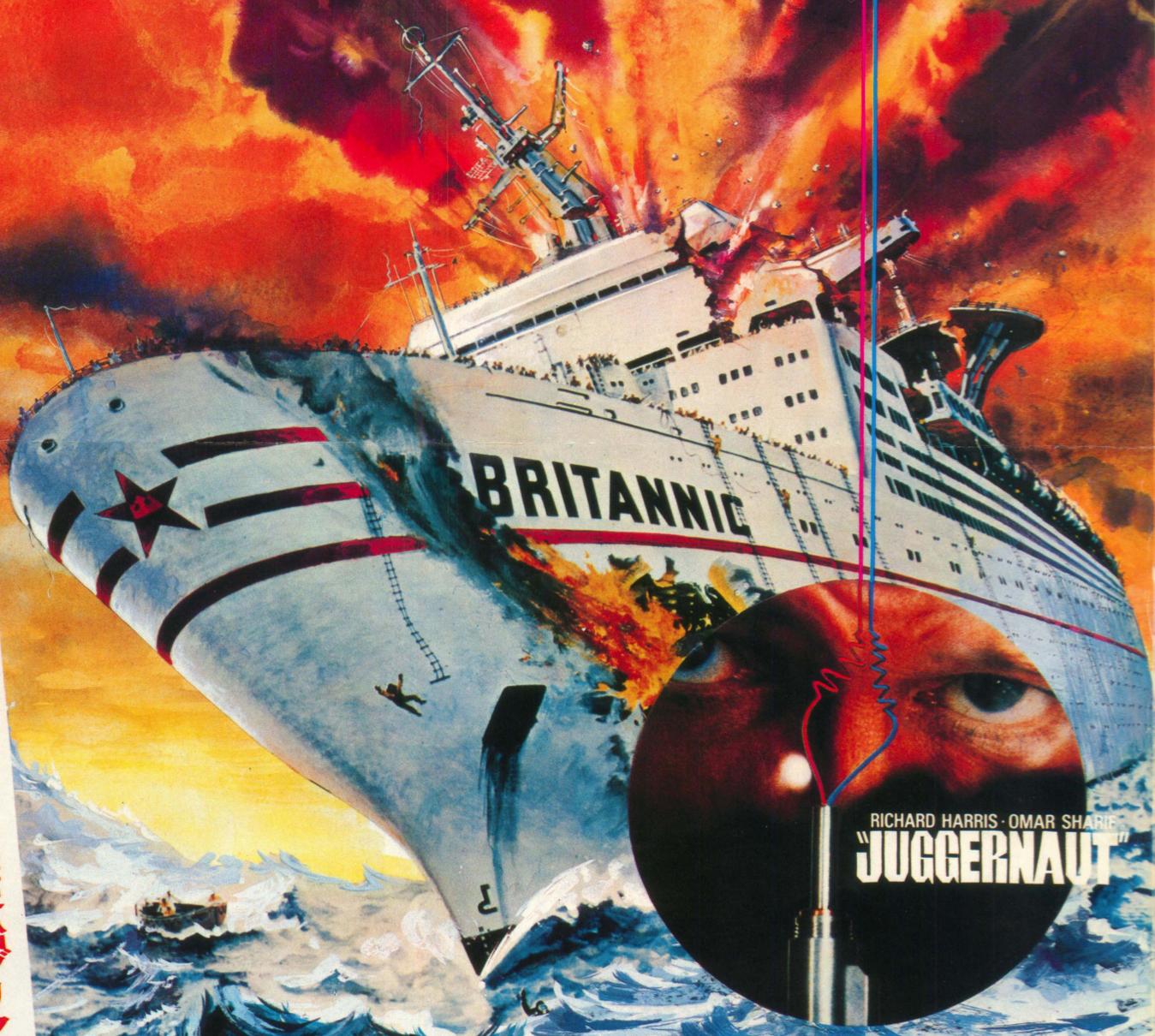


脱出不可能な暴風雨の北大西洋にメガトン級の爆弾が時を刻む、千二百人の命と共に揺れる豪華客船ブリタニック号!

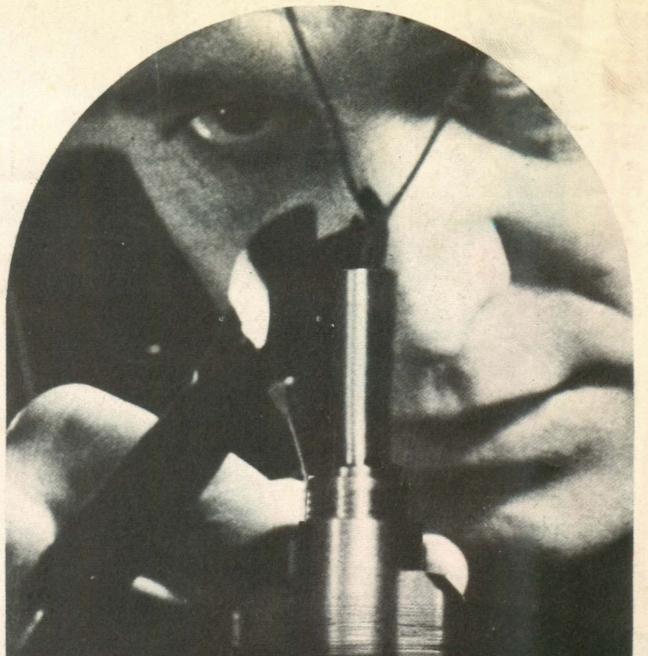


RICHARD HARRIS · OMAR SHARIF
"JUGGERNAUT"

リチャード・ハリス / オマー・シャリフ
デヴィッド・ヘミングス / アンソニー・ホプキンス
シャーリー・ナイト / イアン・ホルズ

パナビジョン / デラックスカラー
製作 デヴィッド・V・ピッカー
監督 リチャード・レスター
原作 リチャード・デコッカー
United Artists (早川書房刊)
ユナイテッド映画

ジャガーナウト



DAVID V. PICKER presents RICHARD HARRIS · OMAR SHARIF in

JUGGERNAUT

ジャガーノート

パナビジョン / デラックスカラー / 1974年作品 / イギリス映画

▶ スタッフ ◀

製作指揮…デビッド・V・ピッカー
 製作・脚本…リチャード・デッカー
 監督…………リチャード・レスター
 音楽……………ケン・ソーン
 撮影……………ゲリー・フィッシャー
 特殊効果……ジョン・リチャードソン

▶ キャスト ◀

リチャード・ハリス
 オマー・シャリフ
 デビッド・ヘミングス
 アンソニー・ホプキンス
 シャーリー・ナイト
 イアン・ホルム

R・レスター・フィルム作品



■大スケールで展開するサスペンス大作!

広大な北大西洋と二万五千トンの豪華客船ブリタニック号を背景に展開する大スケールのサスペンス大作である。

荒れ狂う北大西洋を進む豪華客船ブリタニック。この船にメガトン級の爆弾が七個仕掛けられた。脅迫者は「ジャガーノート」と名乗る男だ。二十数時間後にその爆弾は炸裂し、千二百人の生命が危険にさらされる。そして彼の指示に従えば爆弾は不発に出来るという。その代償として五〇万ポンドを要求してきたのだ。しかも荒天の為、救命艇は出せない。千二百人の生命を救うのは、爆薬にかけてのオーソリテイ、ファロン中佐以下七名の爆薬処理班だ。それから恐怖のメカニズムに挑戦する人間の才智と勇気を賭けた戦いが、刻一刻を争うスリルとサスペンスの中で克明に描かれる。

■一流スタッフ・豪華スターの共演!

一連のビートルズ映画で傑出した演出力を見せたリチャード・レスター監督は、前半を爆薬処理班が嵐の中で大型輸送機からブリタニックに乗り移るまでをアドベンチャーとして描き、後半を小指の先ほどのないメカニズムの恐怖をサスペンスフルに盛りあげる。

出演者はリチャード・ハリスとオマー・シャリフという二大スターに加え、「欲望」のデビッド・ヘミングス、「グルーブ」のシャーリー・ナイト、「戦争と冒険」の

アンソニー・ホプキンスという優れた芸達者たち。

撮影は実際の豪華船を北大西洋に乗り出し、嵐の日を求めて敢行された。本物の船を使った迫力は画面に十分に発揮されている。(上映時間一時間五〇分)

■二〇〇人の乗客が恐怖のどん底へ!

二万五千トンの豪華客船ブリタニック号が華やかな見送りを受けて、イギリスのサウザンプトン港を離れ、北大西洋へとその巨体を乗り出して行った。ブリタニック号が北大西洋の中央に達した頃、この巨船の運命を変える一本の電話がかかってきた。「ジャガーノート」と名乗るその男は、ブリタニック号に七個の時限爆弾を積み込み、明日の夜明けにそれが爆発するというのだ。自分の指示に従うなら不発にする方法が一つだけある。その代償として五〇万ポンドを支払えと脅迫してきたのだ。ただの脅しでない証拠にささやかな実験をすると宣言し、その直後に後部甲板で爆発が起った。もはや脅迫の真偽を疑う者はない。「ジャガーノート」が予告した時間は夜明けの八時一〇分。あと二〇時間しかない。

政府や警察の方法は「犯人を捕え、時限爆弾は海軍の爆薬処理班が処理する」と決定した。早速、爆薬のオーソリテイのファロン中佐を隊長とする七名の爆薬処理班が組織され、北大西洋へと飛び立った。荒れた海で旋回するブリタニック号に海軍機からパラシュートで飛び降りるファロン中佐たち。荒れ狂う海に、貴重なメンバーが

一人減った。残る時間は十数時間。彼らは死ぬほどの疲労感を克服しながら爆弾にとりついた。爆弾の置かれた機関室はロックごと封鎖され、ファロンが一本のネジ、一本の線を切ると、他の隊員がそれに従った。千二百人の生命が、一本のドライバーとカッターに託されているのだ。一方、ロンドン警視庁も爆弾設計のプロを洗い始めた。

ボルトがはずされ、ワイヤーを切り、接続点を外す段階で一つの爆弾が炸裂した。被害者はファロンの片腕チャリーだった。なぜ政府は金を払わないのだノファロンの声が怒りにふるえた。再び爆弾に取り組んだ彼は、チャリーが生命を落としたプレートを取りはずしてみて、その悪魔的ないたずらに思い当るものがあつた。第二次大戦で彼が悩まされたある男の作つたドイツ軍の地雷。その地雷を知っているのは、かつての上官バックランドだ。今まで取り組んでいたものが、すべて畏だと悟つたファロンは、別の金属部分に挑んだ。警視庁も独自の捜査でバックランドを割り出した。爆発の時間まであと二時間。ファロンは船長に救命艇の用意を命じた。甲板に救命具をつけて待機する乗客は恐怖にうちひしがれていた。露わにされたバックランドの「傑作」の前でファロンはうなづいた。赤と青の線のどちらかが時限装置につながっているのだ。爆発まであと数分!どちらかを切断しなければならぬ……。

近日大ロードショー

新宿スカラ座

(351) 3127